

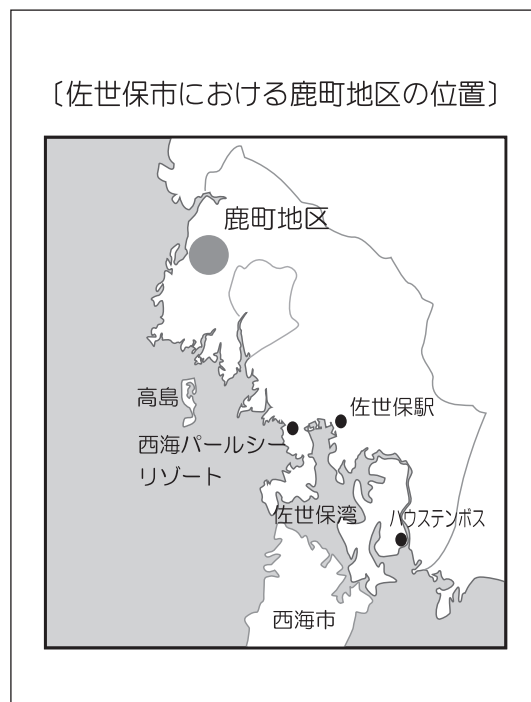
【1】鹿町地区ってこんなまちです

(鹿町地区の紹介)

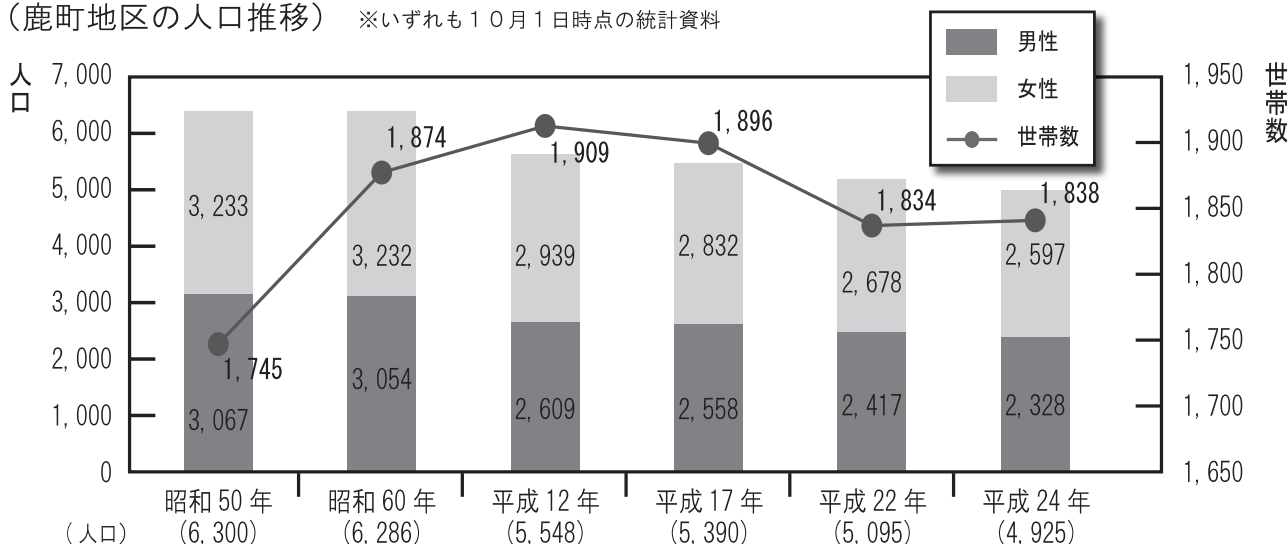
平成22年3月31日、佐世保市へ編入合併した鹿町地区は、長崎県本土地域の最北部、北松浦半島の北西部を町域とし、佐世保市市街地から北西へ約20kmの場所に位置しており、町域南西部から北部にかけて海に面しています。

沖合いには北九十九島と呼ばれる多数の島が点在し、北部は半島に切り込んだ湾（江迎湾）に接しています。

北松浦半島では半島内の各地域で石炭を産出し、北松炭田として栄えました。そのためかつては町内にも数ヶ所の炭鉱がありましたが、1960年代にすべて閉山しました。現在は漁業と農業が中心となっています。



(鹿町地区の人口推移) ※いずれも10月1日時点の統計資料



(鹿町地区 “わがまち自慢”)

“自慢” がいっぱい！の鹿町その一部を紹介します。

長 串 山

西海国立公園の一角の標高234mの長串山には、平戸つつじや久留米つつじを中心に約10万本のつつじが植えられ、例年4月中旬から5月初旬頃（ゴールデンウィーク後半）まで鮮やかなつつじの開花を見ることができます。



海洋スポーツ基地

「海と島の自然体験館」は、海洋レジャーの拠点施設としてシーカヤック体験、自然体験プログラム、海辺でのキャンプ、夏期の海水浴場、研修会場として幅広く利用できます。北九十九島シーカヤックツーリングや無人島に上陸して自然観察するなど体験メニューもいっぱいです。

しかまち観光夏祭り

鹿町支所前の駐車場周辺で行われる夏祭りです。祭りに彩りを添えるのが打ち上げ花火で、特に海を利用した水中花火には、毎年感動と歓喜の声があがります。



ふぐの養殖

鹿町町の沿岸で大切に育てられているとらふぐは、10月から2月にかけて旬を迎えます。その季節になると、鹿町町内の食事どころでは、てっさ（刺身）やてっちりなどの新鮮なとらふぐ料理が食べられます。



鹿町温泉やすらぎ館

平成7年、県立鹿町工業高校の建て替え工事中に天然温泉が湧出しました。泉質はナトリウム炭酸水素塩泉です。とろみがある手触りで、肌の脂肪分や分泌物をよく落とすことから、「美人の湯」とも呼ばれていま



大野台支石墓群

国指定史跡であり、縄文時代から弥生時代にかけての日本最大級の支石墓群で、さまざまな埋蔵品も確認されました。

歴史民俗資料室には、遺跡資料や民俗資料など7,000点が展示されており、貴重な文化財を一般公開しています。